

広報

ただみ

11
2011 月号
No. 498
平成23年11月10日



今月の表紙

すっきりと晴れた青空が広がった10月28日、只見中学校マラソン大会が行われ、男子4.5km、女子2.8kmのコースで順位を競った。生徒は紅葉した山々をバックに秋の日差しを浴びながらさわやかな汗を流し笑顔でゴールしていた。

只見町除雪支援保険事業 他 ・・・	2～3
豪雨災害が河川環境に及ぼした影響	4～5
駅伝競走大会・小学校体育交歓会	6～7
永楽台地域交流30周年記念式典・文化祭 他	8～9
町の話	10～11

只見町除雪支援保険事業 助成対象世帯を拡大

平成19年度に創設された「除雪支援保険事業」は、定額の利用料金（除雪作業標準額）を町指定の除雪事業者に支払っていただくことで、冬期間、屋根に雪がつかえない程度の軒下除雪の作業を事業者に行なっていただく制度です。

この制度の利用料金は、

▽只見地区……………42,000円

▽朝日地区……………39,900円

▽明和地区……………37,800円

となっております。この利用料金を支払っていただくことで、どなたでも利用していただけます。

また、75歳以上の高齢者世帯には所得にに応じて助成を行う制度を設けていましたが、この助成制度の見直しを行い、助成対象世帯の拡大や利用料金の支払い方法を次のとおり変更しましたのでお知らせします。

助成対象世帯の拡大

今回、助成制度の見直しにより次のとおり助成対象世帯を拡大しました。

①ひとり親家庭を含む世帯で住民税が非課税の世帯

②重度心身障がい者（身体1級と2級及び3級で心臓・腎臓・呼吸器等の障がい、知的AとB、精神1級と2級）の方がいる世帯で住民税が非課税の世帯

③65歳以上の一人暮らし及び65歳以

上のみの方で構成される世帯で

住民税が非課税の世帯

助成金額は、前年の世帯員の総所得金額により所得段階を設け、助成割合として利用料金の

▽4分の3

▽2分の1

▽4分の1

のいずれかを決定し、助成金額を算出します。

支払方法の変更

これまででは、利用料金を申込時に全額支払っていただいておりますでしたが、利用料金を一度に支払うことに苦勞されることがありました。これを緩和する方法として、高齢者世帯等の助成制度に該当する世帯には、助成金分を町から直接事業者へ支払い、利用者（高齢者世帯等）は自己負担分のみを事業者に支払う制度「代理受領委任制度」を設けました。この制度を利用することにより、助成に該当する世帯の方は、利用料金を支払うときの負担が軽減されることとなります。

只見町高齢者等住宅屋根除雪費助成制度を創設

町民生活の安心・安全を確保するため、自力で住宅の屋根の除雪をすることが困難な方を対象に、住宅の屋根の除雪及び排雪に要する経費の一部を助成する新たな制度を創設しました。

課税の世帯
助成金は、住宅の屋根の除雪とその除雪に伴う排雪に要した経費を対象に、1回あたり2分の1の額を助成します。（年間4万円を限度とします）

助成の対象となる方は、只見町に住所を有し、自力で住宅の屋根の除雪をすることが困難な方で、次に該当する世帯です。

申請方法は、除雪事業者等（事業所や個人）に屋根の除雪を行ってもらい料金を支払った後に「高齢者等住宅屋根除雪費助成金交付申請書（兼除雪実施報告書）」を記入していただき、次の書類を添えて、役場に提出していただきます。審査後、申請者に助成金を口座振り込みにより支払います。

なお、利用できる世帯には利用者証が送付されます。

【申請に必要な書類は…】

①ひとり親家庭を含む世帯で住民税が非課税の世帯

▽高齢者等住宅屋根除雪費助成制度利用対象者証（町から送付される利用者証）

②重度心身障がい者（身体1級と2級及び3級で心臓・腎臓・呼吸器等の障がい、知的AとB、精神1級と2級）の方がいる世帯で住民税が非課税の世帯

▽除雪費の領収書の写し
となりませす。

③65歳以上の一人暮らし及び65歳以上のみの方で構成される世帯で住民税が非

課税の世帯

課税の世帯

課税の世帯

— 除雪支援保険事業利用者の負担を軽減 — 代理受領委任制度

「代理受領委任制度」は、除雪支援保険事業を利用される方の支払いを、自己負担分のみで済むようにする制度で、利用者の一時的な負担を軽減することを目的に設けられました。自己負担分以外の助成金相当分(除雪作業料金の4分の3～4分の1)は、利用者の委任状に基づき、除雪作業受託事業者に只見町が直接支払います。

代理受領委任制度を利用すると…

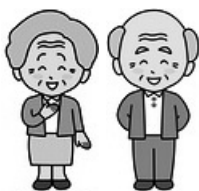
除雪作業受託事業者



支払いが楽です!

助成後の自己負担分のみ支払い

利用者への助成金分を支払い



利用者



只見町

福祉灯油助成事業

高年齢者世帯などを対象に暖房用灯油にかかる購入費の助成を行います。助成の対象となる世帯や助成金額は次のとおりです。

【助成対象世帯】

- ▼ 家族全員が住民税非課税で、65歳以上の高齢者のみで構成される家庭
- ▼ 重度障がい者などがある家庭
- ▼ 18歳未満の子どもを有するひとり親を含む家庭

【助成金額】

- ▼ 一世帯あたり5千円分の灯油受給券を配布します。

【交換方法・期限】

▼ 灯油受給券の配布を受け

た方は、町が指定した町内の事業所で、平成24年3月末までに灯油と交換してください。灯油受給券が使える町内の指定事業所は、次のとおりです。

【指定事業所】

- ▼ (有)さかい商店(只見)
 - ▼ 只見郵便運送(有)(只見)
 - ▼ 会津みなみ農協
 - ▼ (有)倉田屋(黒谷)
 - ▼ 南会商事(株)(天倉)
 - ▼ 菊地商店(梁取)
- 以上の6事業所となります。



【お問い合わせ】

保健福祉課
福祉班

電話 84-7010



及ぼした影響

只見町ブナセンター館長

鈴木 和次郎

7月末の記録的な豪雨は、只見町に甚大な被害をもたらしました。只見の自然環境（森林そして河川）も、また、今回の豪雨災害により大きな影響を受けています。現在、災害復旧に向け、様々な取り組みがなされていますが、只見の生活地域を取り巻く自然環境の変化を知ることが、今後の復旧と町づくりにとって、重要な意味を持つものと考えます。そこで、只見町ブナセンターは、今回の豪雨で最も影響を受けたと思われる河川環境について伊南川流域を中心に調査を行ってきました。

今回の豪雨により伊南川の水位は通常時より4〜5メートル上昇し、流れの中心付近や中洲では、ヤナギ林がなぎ倒され、樹冠が飛ばされ樹皮が剥がされ、さながら白骨化した樹木群が残されました【写真1】。

一方、河岸では砂礫が1メートル以上も堆積しましたが、ヤナギ自身は根元部分が埋もれたものの、直接的な被害は受けていません。伊南川には希少種ユピソヤナギを含めたヤナギ林が連続的に分布していますが、ユ



写真2：洪水2カ月後には、シロヤナギの生き残った部分から多数の萌芽枝の発生が見られる



写真1：洪水により白骨化したシロヤナギ林

豪雨災害が河川環境に

ビソヤナギは比較的比高が高い場所に分布する結果、心配されたような集団の著しい縮小、消失といった事態は避けられませんでした。

また、大きな被害を受けたシロヤナギについても、洪水から3カ月あまり過ぎた現在、根元付近の幹から盛んに萌芽枝が発生し、再生の兆しが見られます【写真2】。

また、これらヤナギの洗掘された根系を見ると、これまで一度々、河川攪乱により被害をこうむりながらも再生してきた歴史を見ることが出来ます。ヤナギが河川攪乱に強いことを示す証です。

○・・・・・・・・・・・・・・・・○

只見町ブナセンターは同時に、河川に押し出された流木の調査も行っています。塩ノ岐川と伊南川の出合い付近の調査結果では、流木の主要な樹種はサワグルミとスギで、いずれも根を持ち、樹皮が剥がれた状態で流木化していました【写真3】。こうしたところから、斜面下部、水辺域に成立したサワグルミ林やスギの人工林が、溪岸侵食や土石流により押し出され、流木化したものと考えられます。中には1メートルを超えるブナの

大径木も見られるところから、相当の距離を流下してきたものと思われれます。

○・・・・・・・・・・・・・・・・○

河川周辺のヤナギ林については、治水利水、生物多様性の保全などの視点から、その管理のあり方について、論議のあるところですが、伊南川に連続的に成立するヤナギ林について言えば、今回の洪水において、流木その他の流下物を補足し、また河岸侵食を抑えるなど一定の好適な役割を果たしているように見られます【写真4】。今後は、新潟大学と連携し、河川攪乱後が水辺林に及ぼす影響、さらに被害を受けた林分の再生過程などを詳しく調査する予定です。

○・・・・・・・・・・・・・・・・○

今回の集中豪雨は、地域社会に甚大な被害をもたらしたと同時に、河川周辺を中心に只見の自然環境にも少なからず影響を及ぼしました。

一方で、只見の豊かな自然が、こうした自然災害を最小限にいくとどめたように見えます。只見の自然の価値をこうした方面からも見直していく必要があると思われれます。



写真4：比高の高い氾濫原に成立するユビソヤナギ林は、多量の土砂、流木を補足した



写真3：今回の豪雨は、大量の流木を発生させた（塩ノ岐川と伊南川の合流付近）

快晴の秋空に鳴り響いた号砲

只見町駅伝競走大会

さわやかな秋の青空が広がった10月9日、只見町体育協会などが主催する第49回只見町駅伝競走大会が開かれました。今年7月29日に発生した大水害の影響で従来の競技コースに危険箇所があるため、大会内容を一部変更しての開催となり、只見中学校前をスタートとゴールとして中継点として、特別養護老人ホーム只見ホーム前などを折り返すコースを周回する設定で行われました。また、部門には男女混成の部が追加され、選手は号砲とともに一斉にスタート。澄みきった青空のもとで健脚が競われました。沿道の声



▲32チームが一斉にスタート

援に後押しされ、元氣付けられたランナーは、全力で走り抜き、爽やかな汗を輝かせタスキをつないでいました。

エントリートした32チーム全てが災害からの復興を願い完走を果たしました。

また、今年も只見ランナーズ及び只見町食生活改善推進員の皆様のご協力による無料トン汁コーナーが設けられ、準備された約500食が振る舞われました。選手は走り切った満足感に浸り、おいしいトン汁を笑顔で食べていました。

成績は次のとおりです。

- 【中学男子の部16・2km】
- ①喜多方三中(57分46秒)
- ②南郷中野球部A③H R K 48(只見中)
- 【中学女子の部14・8km】
- ①喜多方市駅伝チーム(59分05秒)
- 【一般女子の部14・8km】
- ①爆走戦隊(55分43秒)
- ②南会津高校③南会津ST
- 【一般男子の部20・0km】
- ①喜多方市駅伝チーム(1時間05分49秒)②走レンジャー③シークレット
- 【男女混成の部20・0km】
- ①ひのきアスリート軍団(1時間18分26秒)②只見町役場③荒海ロングランクラブ



▲さわやかな笑顔でゴール



▲区間賞表彰(左)・快晴の只見路を快走(右)



▲走った後は最高です

♪大人気♪
トン汁
コーナー
おいしい

豪雨災害乗り越え練習の成果発揮

只見町小学校体育交歓会



▲1000M走で力強いスタート

穏やかな秋の青空のもと、只見町小学校体育交歓会が、10月4日に町下運動広場で開かれ、只見、朝日、明和の小学生80人が陸上競技を行い親睦と交流を深めました。

開会式では、大会会長の齋藤修一教育長があいさつを述べ、続いて、横山大太郎教育委員長は、「運動をすることで自身の心も鍛える第一歩にしてください」と祝辞を述べました。その後、只見小学校6年の鈴木遥大くんが「震災で運動ができなくなっただけで、人たちの分まで全力で頑張ります」と元氣よく大きな声で選手宣誓をし、競技がスタートしました。

臨む児童に、詰めかけた保護者や町民の方からは大きな声援が送られていました。競技終了後の講評で実行委員長の高橋吉博只見小学校校長は「今後も陸上競技に親しんでください。6年生は中学校でも頑張つて、5年生は来年にむけ準備をしてください。努力は裏切らない。を心に、これからも共に支えあつていきましよう」と述べました。

どの小学校も、児童と先生が一丸となり、競技に集中していました。また、豪雨災害を乗り越え一緒に練習してきた友達の勝利を信じ、熱い応援を送る姿が感動的ならばらしい大会となりました。

第41回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表

女子100M走					女子80Mハードル					女子800M走					女子4×100Mリレー		
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	チーム名		記録		
1	酒井 結咲	6	只見	15"7	渡部帆七海	6	只見	16"0	鈴木 菜美	5	只見	2'57"3	只見A(鈴木、目黒、酒井、渡部)		1'05"6		
2	目黒 杏里	5	只見	16"2	若林 愛梨	6	明和	16"5	山内 花	5	明和	3'06"1	明和A(山内、角田、高橋、若林)		1'09"2		
3	目黒 眞子	6	朝日	16"7	高橋 涼花	6	明和	16"5	山内 綾	6	只見	3'09"3	朝日A(目黒明、目黒眞、酒井、山中)		1'09"4		
4	大竹 里奈	5	只見	17"4	新國かすみ	5	只見	17"2	山中 愛梨	6	朝日	3'09"5	只見B(目黒琴、鈴木、目黒温、山内)		1'11"3		
5	鈴木 凜	5	只見	17"6	川合 未来	5	只見	18"2	角田妃菜子	6	明和	3'15"6	明和B(角田、梁取、菊地優、菊地美)		1'16"6		
6	菊地 美結	6	明和	18"1	酒井 雪音	6	朝日	19"1	角田 真央	5	明和	3'19"7					
男子100M走					男子80Mハードル					男子1,000M走					男子4×100Mリレー		
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	チーム名		記録		
1	目黒 悠	6	只見	15"5	八久保洋介	6	朝日	14"6	星 風吹	6	朝日	3'32"2	只見A(目黒、鈴木道、鈴木遥、新國)		1'03"5		
2	目黒 豊	6	朝日	15"8	新國 陸	6	只見	14"7	鈴木 遥大	6	只見	3'44"3	朝日A(目黒裕、八久保、星、目黒豊)		1'03"7		
3	山内 光	6	明和	16"3	鈴木 道也	6	只見	15"1	梁取 水咲	6	明和	3'49"2	朝日B(横山、渡部、菅家、吉津)		1'06"6		
4	梁取 遥矢	6	明和	16"4	菅家 和浩	5	朝日	15"1	吉津 遥	5	朝日	3'55"6	明和A(梁取水、関本、山内、梁取遥)		1'07"5		
5	渡部賢太郎	5	朝日	16"5	飯塚健太郎	6	明和	15"9	鈴木 蓮	6	只見	4'03"2	只見B(上野、鈴木翔、鈴木蓮、五十嵐)		1'07"8		
6	五十嵐夏希	6	只見	16"6	関本 元樹	6	明和	15"9	上野 慎太	5	只見	4'04"5	明和B(飯塚健、山内、五十嵐、飯塚春)		1'08"3		
女子走り幅跳び					女子走り高跳び					女子ソフトボール投げ							
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	
1	目黒 杏里	5	只見	340cm	酒井 雪音	6	朝日	110cm	若林 愛梨	6	明和	40m80					
2	目黒 眞子	6	朝日	301cm	鈴木 菜美	5	只見	110cm	新國かすみ	5	只見	35m45					
3	山中 愛梨	6	朝日	299cm	渡部帆七海	6	只見	105cm	酒井 結咲	6	只見	33m74					
4	加藤 愛惟	6	只見	296cm	大塚 琴美	5	只見	100cm	大竹 涼華	5	只見	27m06					
5	菊地 美結	6	明和	294cm	高橋 涼花	6	明和	100cm	星 鈴果	5	朝日	25m08					
6	鈴木 凜	5	只見	293cm	山内 花	5	明和	100cm	新國 愛菜	5	只見	24m06					
男子走り幅跳び					男子走り高跳び					男子ソフトボール投げ							
順位	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	氏名	学年	学校名	記録	
1	星 風吹	6	朝日	380cm	鈴木 遥大	6	只見	113cm	梁取 遥矢	6	明和	57m09					
2	目黒 悠	6	只見	367cm	八久保洋介	6	朝日	105cm	目黒 豊	6	朝日	53m64					
3	上野 慎太	5	只見	352cm	新國 陸	6	只見	105cm	目黒 裕大	6	朝日	50m18					
4	五十嵐健斗	5	明和	339cm	吉津 遥	5	朝日	105cm	渡部賢太郎	5	朝日	48m21					
5	関本 元樹	6	明和	336cm	齋藤 元気	5	朝日	105cm	五十嵐夏希	6	只見	45m83					
6	梁取 水咲	6	明和	331cm	横山 颯	5	朝日	100cm	山内 勇輝	6	明和	45m40					

交流30周年を祝し記念植樹

永楽台地域交流30周年記念式典・文化祭

千葉県柏市の永楽台地域交流30周年記念式典および同地域の文化祭が10月15日から16日に行われ、目黒町長と五十嵐拓町議会議長などが出席しました。

15日に永楽台地域ふるさと協議会の主催による交流30周年記念式典が永楽台近隣センターで行われ、目黒町長は「これからも只見町と柏市との交流事業がさらに発展し継続していくよう願っています」と祝辞を述べました。表彰式では、30年にわたり当町と柏市の交流活動にご尽力いただいた

柏市の「鬼澤喜男」氏に只見町から感謝状と記念品が贈られ、永楽台地域ふるさと協議会からは、交流活動の先駆的な役割を果たされたとして、五十嵐拓町議会議長に感謝状が贈られました。また、交流30周年を祝し記念植樹も行われ、只見町の山桜2本が同センターの敷地内に植えられました。

16日は、毎年只見町が参加し物産販売やもちつき大会などを行う永楽台地域文化祭が開かれ、今年も只見町コーナーが大盛況でした。

この歴史ある交流事業が、今後も活発に続くことを期待したいと思います。



▲記念植樹をする目黒町長(左)

福祉乗合運行も12月にスタート

福祉送迎「いきいきバス」運行

福祉送迎「いきいきバス」の出発式が10月3日に只見スキー場駐車場で行われ、目黒町長はじめ関係者が出席しました。

この出発式は、今まで介護老人保健施設こぶし苑が運行していた同苑や木の葉、こまどりの利用者の送迎バス運行を、10月1日から株式会社社会津ただみ振興公社が只見町から委託を受け運行することになり行われました。目黒町長は、あいさつで

「二つの大きな時代の流れを感じた。人の命をあずかる仕事、気をつけて運行してください」と述べました。その後、安全祈願式があり、目黒町長や久保副町長らによるテープカットで、「いきいきバス」の送迎サービスがスタートしました。

なお、12月からは有料により車イスの方が利用できる福祉乗合運行も開始される予定です。



▲目黒町長(左から2人目)らによるテープカット



▲いきいきバスのサービスを受ける利用者

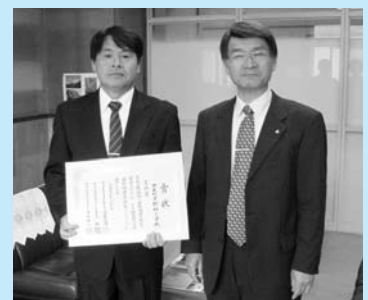
福島県学校歯科保健優良校表彰

明和小学校が

奨励賞受賞

福島県教育委員会などが主催する平成23年度福島県学校歯科保健優良校表彰(第55回よい歯の学校表彰)において、明和小学校が奨励賞を受賞しました。この表彰は、児童生徒に歯や口の健康について関心を持ってもらうことや、健康観を育成することを目指し、毎年行われています。明和小学校児童の歯を大切にする毎日の活動が評価された結果だと思います。

明和小学校の皆さん、おめでとうございます。いつまでも白い歯が印象的な笑顔を見せてください。



▲馬場永好 明和小校長(左)と齋藤修一教育長



▲生徒手づくりのフラッグ

只見中学校文化祭

只見中から只見町を元気に!

第5回只見中学校文化祭「紅葉祭」は「Restart」をテーマに10月15日、同校体育館などで行われました。東日本大震災や新潟・福島豪雨で福島県や只見町が被害を受けたなか、生徒全員で紅葉祭を成功させ、只見町を元気にしたい。という思いが込められたテーマです。紅葉祭は、開会行事で幕を開け、英語弁論発表や7月29日に発



▲美しい歌声が響いた合唱

生した大水害を経験しての思いなどを語った主張発表、合唱コンクールなどが午前中に行われ、学年別合唱にあわせ、特設合唱部の発表や全校合唱が披露され、どれも練習の成果が発揮された清らかで美しい歌声が響き渡り、詰めかけた方々を魅了していました。午後からは、各学年の教室とスペースを利用し総合学習で取り組んだことについて、1年生は会津若松市内自主研修、2年生は職場体験学習、3年生は修学旅行で学んだことを、クイズなどを織り交ぜ趣向を凝らし楽しく発表、大勢の保護者や家族、町民の方が集まり、大きな拍手を送っていました。体育館には生徒の学習成果が伝わる作品の数々が展示され、保護者などの目を引いていました。この日はPTAバザーや模擬店も開かれ、賑わいを見せていました。テーマに込められた思いのとおりに、生徒みんなで力を合わせて、一生懸命頑張ったすばらしい紅葉祭でした。来場された町民の方も元気を取り戻したと思います。

町内小学校学習発表会

一生懸命な姿に感動の拍手

10月22日に只見小学校で、30日に朝日小学校で、11月6日には明和小学校で学習発表会が行われ、保護者や家族、地域の方が大勢詰めかけました。各学校それぞれに、1年生から6年生のユーモアあふれる劇や昔語り、息の合った合奏、心一つに精一杯声を出した全校合唱などが次々と披露されました。何事にも一生懸命取り組む児童の姿に、来場された方々からは感動の拍手が送られました。児童からは「友だちと協力する大切さを学びました。今日まで一生懸命練習してきました。観てくださってありがとうございます。」



▲朝日小学校の全員合唱

「ありがとうございました。」と最後に感謝の言葉がありました。

人権擁護委員に

菅家達朗さん



平成23年10月1日付けで菅家達朗さん(黒谷)が、只見町担当の人権擁護委員として法務大臣の委嘱を受けました。

人権擁護委員は全国の市町村に配置され、地域の中で人権思想を広め、人権侵害が起きないように見守り、人権を擁護する取り組みを行います。住民の皆さんにとって、人権に関する一番身近な相談相手となる人です。

只見町では、菅家さんのほかに藤田節子さん(只見)、山内妙子さん(梁取)も人権擁護委員の委嘱を受けて活動しています。

生 アクアマリンふくしま移動水族館
きた海洋生物と触れ合う



▲ 生きた海洋生物に触れる只見小学校の児童

東日本大震災で被災したアクアマリンふくしまで只見高等学校の生徒がボランティア活動を行なったことがきっかけで、10月17日、同校に移動水族館「アクアラバン」が来校し、生徒がタッチ水槽でカニやヒトデなどの生物と触れ合いました。18日には明和小学校と朝日小学校、19日には只見小学校へ移動し、各小学校の児童も生きた海の生物と触れ合いながら命の尊さを楽しく学んでいました。



ふなぎ とあ
船木 翔空くん
(黒谷)



おおつか さくら
大東 咲来さん
(梁取)



わたなべ しゅう
渡部 柁くん
(福井)



さとう ゆうき
佐藤 優妃さん
(福井)

虫歯の
ない子



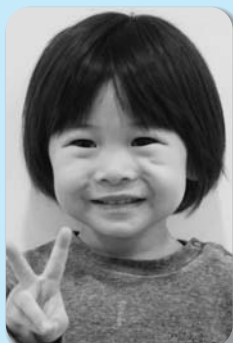
10月26日
3歳児健診



はせべ ゆうか
長谷部 優歌さん
(蒲生)



ばば ひなた
馬場 日向くん
(塩ノ岐)



わたなべ あおね
渡邊 碧音さん
(福井)



いからし ゆうや
五十嵐 悠陽くん
(只見)



つのだ はる
角田 春さん
(坂田)

震 心の健康講演会 災・水害からの復興と心のケアを

11月1日に只見小学校体育館で心の健康講演会が行われました。講師は、福島県立医科大学看護学部総合科学部門長の志賀令明氏で、地域で支えあうところ「世代を超えた理解と絆」と題し講演されました。志賀氏は、震災や水害で大変な時期、みんなで助け合い、共通の仕事や作業を行うことで絆を深めていくことが大切と話され、参加者も今の気持ちを言葉にし、アドバイスを受けていました。



▲ 絆の大切さを実感した参加者

放 地域課題解決アドバイザー派遣事業 放射能汚染について講演



▲ 放射能の現状と対処法などを話す野口邦和氏

10月28日に朝日地区センターで、日本大学専任講師の野口邦和氏を講師に迎え、放射能汚染にどう立ち向かうかと題し講演会が行われ、約50名が参加しました。超学際的研究機構のアドバイザー派遣事業の一環。野口氏は放射線防護学を研究されていて、原発事故で放出した放射能物質の種類や特性などを分かりやすく説明され、参加者からは只見町での除染の必要性などについて質問がありました。

吉 会津五街道ウォーキング 尾峠を越えて

秋晴れの10月23日に、布沢地区から昭和村に続く吉尾峠でウォーキングが行われ、73名が参加しました。登り口を出発した参加者は、途中、鎌倉沢のブナ林や吉尾集落跡などを散策、峠頂上の紅葉を満喫したあと、からむし織りの里で開かれた「昭和村秋味まつり」を見学。昭和村の新そばなどを味わいました。また、まつり会場では参加者全員による「会津から元気を！」の交流宣言も行われました。



▲ 会津五街道ウォーキング実行委員会などが主催

遊 あそびの教室 びから子どもの発達を伸ばそう



▲ 子どもと一緒に運動をするお母さん

子どもの発達を促す遊びを楽しく学ぶ「あそびの教室」が9月26日に保健福祉センターで開かれ、保育所入所前の幼児とお母さんなど26名が参加。鳴き声を聞いて動物の名前を当てる遊びや、子どもを抱いての運動を音楽に合わせて行いました。参加されたお母さんからは「楽しく子どもと触れ合えて良かった。子どもも喜んでいたので、今後も積極的に参加したい」と笑顔で感想が聞かれました。



(訳・只見中・福地)

クリスマスとイースターの次に私が好きな行事です。小・中学生が今以上に海外の行事に興味を持ってくれたらいいなあと思っています。

こんなにも早く寒くなることを忘れていました。10日間ほど海外に行っており、10℃も気温が違う！信じられない！でも、日本に来て1年、ようやく秋は好きな季節といえるようになりました。山々が紅葉するのを見たり、涼しくなった日々を楽しんでいます。景色も日を追うごとにきれいに色づいています。でも、どうしてもカメムシは好

Anna先生のLife in JAPAN Vol.10

■Anna・George
1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
2010年8月から只見町英語指導助手。
小学校と中学校で語学の指導を行います。



きになれません！町民のみさん、カメムシを嫌がっているかと思えます。県内のほかの場所でも働いているALTの友達もカメムシを知らないで、あのニオイに悩まされていないので

10月15日に只見中の文化祭がありました。とても楽しめたし生徒が放課後、一生懸命に準備や練習をしていたので、うまくいったんだと思います。16日には、元ミス・ユニバース・ジャパンでオペラ歌手の小川里美さんが中学校に来てくださいました。彼女の歌声は本当に素晴らしいものでした。彼女が数カ国語を話せることに大変感銘を受けました。彼女の歌声は、聞いている人を幸せな気持ちにしてくれると思います。

皆さんは1999年の『幼児割り箸死事件』をご存知でしょうか。お祭りで綿菓子で割り箸をくわえて走っていた4歳の幼児が転倒し、割り箸がのどに突き刺さった事件です。大病院に救急搬送され、その際は意識は正常で当直医の診断で処置後帰宅となりましたが、その後自宅にて心肺停止状態となり再度救急搬送されましたが残念ながら救命には至りませんでした。初診時、再診時、加えて検死での警察医も含めた複数の医師の診察でも、のどに異物は発見されませんでした。司法解剖で初めて、のどの奥深くに小脳まで達する割り箸の破片が発見され、これが死因とされました。全経過で、医師に割り箸が折れていたことは知らされていませんでした。後日、初診の当直医は業務上過失致死の容疑で書類送検され、刑事・民事訴訟となりました。裁判の結果は医師の過失は認められず、延命の可能性は認められなかったとの判断で無罪が確定しました。同病院の過去の同様の症例でも、重篤な状態に至った方はおらず、

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 湯田孝之

『子どもが口に何かをくわえていたら』

世界的にも報告例のない非常にいたたまれないケースでした。

CTを撮影する機会が増えて

この事件を機に日本の救急医療は変化します。善意に基づく診療であっても、結果が思わしくなければ刑事責任を問われる危惧から、全国で専門外診療や救急医療からの撤退という事態が起きました。また、同様の症例には全例CT(断層写真)をとることが当たり前になりました。この外傷は子どもも多く、昨今テレビ等でよく言われるように子どもは大人より放射線を浴びた際の影響が大きいといわれている上、CTはレントゲンよりはるかに大きい放射線被曝量です。未来ある子どもにはできるだけ無用な放射線を浴びせたくない、ただCTを撮っていないと、どこで万が一があれば自分が逮捕されてしまう、医療ミスと大きく報道され、そうしたら自分の家族はどうなってしまうんだ、というジレンマと、明日は自分が犯罪者になるかもしれないという不安を抱えつつ診療せざるをえないために、日本ではごく軽傷例でも

このような事故から子どもを守るには、何といたっても、ものをくわえて歩くことをやめさせる『予防』が一番です。原因としては、おもちゃ・歯ブラシ・割り箸・鉛筆などが多いといわれています。しついでやめさせることは難しいので、周囲の大人が注意することが大事です。また、大人であつても箸や歯ブラシの使用後に後ろからぶつかられたらすれば同様の事故を招く恐れがあります。事故が起こってしまった場合は、受診した医療機関に『のどに刺さったものを持参』してもらい『折れたり破損していないか』を必ず医師に申告してください。先述の脳障害の他には傷口から菌が入り膿がたまる膿瘍や血管の損傷など入院治療が必要となる合併症も報告されています。もし割り箸が折れていることを誰かが話していたら、何か違っていたかも知れません。予防できうる事故は周囲の大人が気を配り、大切な子どもたちを守っていきましょう。

町史

とっておきの話

208

洋画家

渡部 等

只見警女夜話

只見での警女

差別されることも多かつた警女ですが、越後の地主のなかには丁重に扱った例が多々あります。「われわれがこうして幸せに暮らせるのは、この世の因業を一手に引き受けて背負ってくれている警女さんたちのお陰だ。けっして粗末にはなんねえ」という大旦那もいたようです。こうした心情がながく越後の地に警女を残すことにもつながったのでしよう。

今回、只見町内で警女を知る何人かの方々に貴重なお話を聞くことができましたのでご紹介いたします。

○叶津・長谷部孝一さん

(昭和四年生まれ)の記憶
昭和十八年まで八十里越を越えて警女が来ていた。当初は五人で来ていたが、やがて三人になった。以前は、叶津には三瓶光義さん宅(先代・佐一郎氏)と長谷部正一郎さん宅(先代・

亘氏)の二軒の木賃宿があつて、そこが警女宿になつていった。越後から手間取りに来ていて番所に泊まつていた男衆の何人かが同郷で気安いだらうということ、八十里越の大三本沢まで迎えに行つていた。その川を渡るのは危ないということ、オンプして来た。身なりはごく簡単な七分

なかつた。来ていたのは二人組の警女で、棒のようなものを一緒につかんで歩いてきた。バアが越後の下田から来た人で、そういう縁で警女の世話をしていたのだろう。子どもには面白そう、歩く後尻をついて回つた記憶がある。

○只見・新国本子さん

(大正十一年生まれ)の記憶
小学校三、四年生の十歳くらい、雪解けから十月の半ばくらいの間で、来ると一軒一軒門付けして歩き、夜は警女宿で近所の衆を集めて唄と三味線を聴かせていた。テレビもラジオもない時代だったから、娯楽と

つたように記憶している。このように三人ほどにお尋ねしただけでも、只見町での警女の記憶は意外と残っていました。新国本子さんは実際に警女唄の文句まですらすらと口ずさんでくださいました。「もう一回聴いてみたいなー」という彼女の表情の奥に警女への郷愁感が色濃く漂つて見え、同じ越後出身で警女の面影を追っている私としてはとてもうれしく感じられました。

いったらそんなものくらいだった。○八木沢・五十嵐恵子さん
(昭和四年生まれ)の記憶
実家(故五十嵐豊樹氏宅)が警女宿で、よく泊まつていたよ

うだ。蚊帳まで背負つてきていて、翌朝、それを見えない手で端をきつちり揃えてたたむ様は子供心にも驚いた記憶がある。行儀も身なりもきちつとしていて、正座してもめつたに足をくずさ

いまでも覚えてる。悲しい内容だった。謝礼は、お米なら小皿一杯ほど、お金なら五銭か十銭だった。五十嵐辰男さん宅も警女宿だったみたいだ。警女は年に二回ほど来ていた

よう、組も二つほどあ



警女(渡部等・絵)

町民文芸



只見短歌会

九月詠草

大塚栄一

指導

被災地の役所引揚げし跡地には夕日に広くコスモス光る

古川 英子

子や孫に曾孫伴ひ生家にて宿泊出来る幸せ思ふ

吉津 政枝

豪雨被害の土囊積みみて流されし人の行方のいまだ分からず

渡部ゆき子

洪水后二か月経しも池に入る水は濁りて緋鯉も見えず

五十嵐英子

肌寒き日々の続けばいち早く冬物揃へ姪持ちちくれぬ

馬場 八智

災害で寸断されし国道を迂回し通る車の多き

目黒 富子

洪水は内玄関に渦巻きて孫のサンダル幾つも浮かぶ

渡部ヨリ子

水害は夢の如くに過ぎたるも稔りし稲穂にとんぼも飛ばず

新国 洋子

友逝きて日ごと落ち込むわれと聞き慰むと来しひとまた泣く

(出 詠 順)

只見俳句会

十月例会

目黒十一

指導

大根の間引きをしつつ母想う
秋浅し夕暮おしむ子供声

都

単線に替へて目につく豊の秋
転作は本意にあらず蕎麦の花

邦 夫

スツと来て着地やわらかに鬼やんま
猫じゃらしくすぐってゆく風のあり

洋 子

疲れたる老女居りけり盆の明け
台風揺れる木の枝家内も

リウコ

青天や稲刈る音を遠く聞き
昇りくる十五夜拜む農夫かな

一 穂

朝顔の絡み合いたる蔓重し
Tシャツの案山子ひねもす肩の張り

康 女

初物の栗飯供え秋彼岸
骨納む墓やひと枝吾亦紅

敦 子

秋深む大地平らに暮れゆける
夜寒星ひとりひとりに道岐れ

笑 羊

見廻りの畑に白露かがやけり
松籟や一段落の秋仕舞

礼

貰い手のなき夕顔の実や太し
山色の草の色という子等と

恒 夫

野に送る友の笑顔や秋桜
目に見えぬ原発被害梨香る

邦 男

ホームステイの学生帰国今朝の秋
秋闌くやつまめば消えず甲の皺

吉 児

邂逅の友を迎えて夜半の秋
姑殿手元まめまめ花茗荷

隆 堂

今月の お知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
企画班	☎82-5210
民生課	☎82-5220
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221
訪問看護ステーション	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2130
保健福祉センター	☎84-2101
只見地区センター	☎84-7005
朝日地区センター	☎82-2141
明和地区センター	☎84-2111
	☎86-2111

税 今月の納期

- 11月25日までに納めましょう
- 町県民税(3期)
- 国民健康保険税(5期)
- 国民健康保険税(5期)
- 農集排使用料(11月分)
- 介護保険料(5期)
- 後期高齢者医療保険料(4期)

県議会議員選挙の 不在者投票制度

東日本大震災により只見町に避難されている方等で次の不在者投票ができる要件のすべてに当てはまる方は、福島県議会議員一般選挙を只見町で投票する不在者投票ができます。

●不在者投票ができる要件

▽避難元(福島県内の市町村に限り)の選挙人名簿に登録されている方

▽投票日(11月20日)に避難元の投票所に行けない方

▽期日前投票の期間(11月11日～19日)に避難元の期日前投票所に行けない方

●不在者投票の手続き

①投票用紙を請求する

不在者投票請求書(只見町選挙管理委員会(只見町役場内)にあります)に必要事項を記入し、避難元の選挙管理委員会に郵送してください。

②投票用紙を受け取る

避難元の選挙管理委員会より投票用紙等が送付されますので、受け取ってください。

※不在者投票証明書の入った封筒は、絶対に開封しないでください。

※自宅等で投票用紙に記載しないでください。

③只見町選挙管理委員会でする

「②」で受け取った投票用紙等を只見町選挙管理委員会(只見町役場内)に持参して投票してください。

※記載した投票用紙を避難元の選挙管理委員会に送付しなければならぬため、余裕をもって早めの投票をお願いいたします。

※このお知らせは避難されている方むけに記載しておりますが、避難されている方に限らず、選挙権を有する選挙において投票日及び期日前投票期

県議会議員選挙の 期日前投票制度

投票日に投票所に行けない用事のある場合は、期日前投票の方法により投票することができます。例えば、自営業の方、冠婚葬祭、買い物などの私用でも可能です。次の投票所で期日前投票ができます。入場券をお持ちになつて、お近くの期日前投票所で投票してください。

●只見町役場期日前投票所

▽場所 町民相談室(1階)

▽期間 11月11日(金)～11月19日(土)

▽時間 午前8時半～午後8時

●朝日地区センター

期日前投票所

▽場所 談話室(1階)

▽期間 11月15日(火)～11月19日(土)

▽時間 午前8時半～午後5時

●明和地区センター

期日前投票所

▽場所 ロビー(1階)

▽期間 11月15日(火)～11月19日(土)

▽時間 午前8時半～午後5時

※入場券を持参してください。

▽問い合わせ 選挙管理委員会

☎0241-82-5130

未来の一票

福島県議会議員選挙 11月20日

期日前投票・不在者投票 11月11日(金)～11月19日(土)

福島県選挙管理委員会 福島県明和選挙推進協議会

朝日診療所Q&A

こんにちは
どうしますの？

Q 整形外科を受診したい。

A 月2回（第1・第3木曜）に南会津病院より整形外科の医師が来られて診察を行っております。受診を希望される方は、窓口か電話で予約してください。午前と午後、合わせて先着60人の完全予約制です。60人を超えた場合はお断りすることになりますので、早めの予約をおすすめします。

他の整形外科に通院中の方は、治療の経過や処方薬・注射等をこちらで把握するために通院先などから診療所あての紹介状をもらってきてください。

▼問い合わせ

朝日診療所
☎0241-8412221

新潟・福島豪雨被害者 税の無料相談会

東北税理士会田島支部では、「平成23年7月新潟・福島豪雨」により被害を受けられた方を対象とした、税金に関する無料相

談会を開催します。

今回の豪雨災害により住宅や家財などに被害を受けられた方に対する所得税の軽減措置の適用要件や手続き等について、専門の税理士が相談に応じます。相談の際には、被害の状況が分かる書類（「り災証明書」等）をご持参ください。なお、本相談会は事前予約制となっておりますので、申込先へ連絡のうえ予約してください。

●日時

11月26日（土）10時～16時

●場所 朝日地区センター

●申込先

東北税理士会福島県支部連合会
☎0241-53413907

福島県弁護士会

被災者支援活動

●震災・原発無料電話相談

対象

震災・原発で被災された方

受付時間

平日午後2時～午後4時

電話番号

0241-53411211

0241-92516511

0242-2712522

0246-2510455

●震災・原発無料面談相談（予約制）

町長室日誌

〈10月分〉

- 3日 福祉輸送運行開始式
献血団体に対する血液センター所長感謝状伝達式
- 4日 「会津総合開発協議会」及び「会津縦貫南道路整備推進期成同盟会」中央要望活動
- 5日 只見町消防団幹部会
- 6日 各市町村長と知事との意見交換会
- 7日 辞令交付、町長予算査定
- 9日 只見町駅伝競走大会開会式、只見町土地改良区理事会
- 10日 平野達男震災復興担当大臣に対し要望活動実施
- 12日 総務省財政課長と面談
- 13日 定例庁議
- 14日 只見町議会10月第1回会議、震災復興講演会
- 15日 柏市永楽台地域ふるさと協議会及び只見町との交流30周年記念式
- 17日 会津総合開発協議会南会津地方部会並びに議員大会決議要望事項の県要望
- 18日 公共土木災害査定
- 21日 只見町議会10月第2回会議、南会津地方広域圏組合管理者会
- 23日 三島町町制施行50周年及び三島町商工会創立50周年合同記念式典及び祝賀会
- 25日 国道289号八十里越地点開発期成同盟会新潟県内国県要望活動
- 26日 会津地区国有林等所在地元市町村長有志協議会
- 28日 介護施設地鎮祭、超学際的研究機構地域課題解決アドバイザー派遣事業「放射能汚染にどう立ち向うか」
- 30日 ふるさと只見の集い
- 31日 辞令交付式

対象

震災・原発で被災された方

実施場所

福島、二本松、郡山、白河、会津若松、いわき、相馬の7カ所

予約方法

平日午前10時～午後4時まで、0120-7700-791（フリーダイヤル）へお電話ください。相談場所へのアクセス、相談曜日、時間などは予約の際にお問い合わせください。

●原子力発電所事故被害者救済支援センター

対象

原発事故で被災された方

支援内容

原発事故の被害者救済を支援

HPアドレス

<http://business3.plala.or.jp/fba/>

携帯HPアドレス

<http://business3.plala.or.jp/fba/k/>

お問い合わせ

タウンページセンター

平日 午前9時～午後5時

☎0120-5061309

NTT東日本発行の 電話帳を配達・回収

NTT東日本福島支店では、12月中に順次、新しい福島県版の電話帳（平成24年1月発行タウンページ・ハローページ）を

各家庭・事業所へお届けします。その際、古い電話帳は回収し新しい電話帳と交換いたしますので配達員に渡してください。なお、不在等で渡せなかった場合、後日、再度伺いますのでお問い合わせください。

▼問い合わせ

タウンページセンター

平日 午前9時～午後5時

☎0120-5061309

町民の消息

(10月1日～10月31日届出分) 敬称略

■お誕生おめでとうございます

梁取孝太郎 (こうたろう)
(男/正孝・綾) 大倉
矢沢 茜音 (あかね)
(女/忍・由唯) 只見
新國 璃空 (りく)
(男/透・千晶) 只見

■ご結婚おめでとうございます

佐藤 佑介(大倉) ♥ 五十嵐 麻美(黒谷)

■おくやみ申し上げます

河原田 章 雄	64歳	只見
酒 井 正 次	76歳	只見
大 竹 テルコ	97歳	大倉
吉 田 哲 夫	61歳	叶津

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成23年10月1日現在

人 口	4, 8 6 0	(-2)
男	2, 3 2 9	(+3)
女	2, 5 3 1	(-5)
世帯数	1, 8 5 6	(-1)
高齢化率	4 1. 4 %	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 6 転出 4 出生 2 死亡 6

▽秋は様々な催しが行われる季節です。学校でも学習発表会やマラソン大会などが行われ、子どもたちの一生懸命な姿に元気をもらっています。▽今年も只見中の紅葉祭にお邪魔しました。1年生の自主研修発表では町を良くする提言として、ブナ林を利用したウォーキングをしたり、きれいな水を使った只見の天然水を作ればいいなど、町の特徴をアピールする意見が聞かれました。改めて只見は自然の宝庫と思いつながら、中学生にもその価値が浸透していることを感じ、ちよつと嬉しくなりました。

あとがき

まちづくり推進員
渡部 敦子

明和地区センター
図書室 ☎86-2111

おすすめ新着図書

★記憶喪失になったぼくが見た世界



坪倉優介/著 (朝日新聞出版)
交通事故により重度の記憶喪失に陥った著者。自分の名前はおろか、食べる、眠るなど最低限の欲求の意味も分からない。大人の体に宿る、生まれなおしたばかりの剥き出しの感性と柔らかな心。ごく身近な周囲すら、彼にとっては全くの未知の世界。ひとつひとつに驚き、怯え、戸惑い、同時に感じる深い孤独。それでも家族の愛に支えられ、新しい個性を得て、ゆっくりと1歩1歩人生を取り戻していく過程が綴られた等身大の言葉は、拙いからこそ切なく心に迫ります。

★ぼくのお風呂



鈴木のりたけ/著 (PHP研究所)
お風呂の楽しみ方。おもちゃや入浴剤、音楽を聴いたり本を読んだり、テレビを見たりする人もいますよね。でもこの絵本の中のお風呂はまさに奇想天外。ページをめくるたびに、「めいろうのお風呂」「おてつだいぶろ」「お風呂のでんしゃ」なんて楽しいお風呂が飛び出します。途中お風呂の栓を盗んだ犯人を捜したり、ゲームの要素も盛りだくさんで、1冊で繰り返し楽しめます。シリーズで『ぼくのトイレ』も購入しました。

★秋の夜長、子供服、婦人服の洋裁本を購入しましたので、興味のある方ぜひチャレンジを。
★県立図書館あづま号の図書も更新しましたので、各地区センターにお越しください。(朝日・明和のみ)
★リクエストは随時受け付けておりますので、遠慮なくお寄せください。

町民憲章

- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

エサキモンキツノカメムシ

Sastragala esakii ツノカメムシ科

この季節、只見ではクサムシ(カメムシ)が大量に発生します。只見には9種のカメムシの仲間がいます。その代表的な種はクサギカメムシですが、中には背中にハート型の模様があるカメムシもいます、「エサキモンキツノカメムシ」です。

このエサキモンキツノカメムシの特徴は子育てをすることです。メスは、自分が産んだ卵が孵化し幼虫が1度脱皮して2齢になるまで、卵と幼虫を守り続けます。幼虫も成虫も晩秋のこの季節、ミズキ、サンショウなどの実の汁を吸って生きています。



特別展示

○只見の自然を食べる

期間:10月8日(土)~11月30日(水)

※11月26日(土)の午後1時から料理教室を予定しています。

※この広報紙は再生紙を使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、義援金やお見舞いをいただいております。誠にありがとうございます。いただきました支援金については災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

義援金 7,216,045円 (148件)

見舞金 5,777,983円 (41件)

11月7日現在

※環境にやさしい大豆油インキを使用しています